

昨年からスタートした市政広報テレビと本紙の連動企画「英語が話せる街 SASEBO de ENGLISH」。ことしから新たなナビゲーター・エミリーさん(写真右)が加わり、番組もリニューアル。市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「眼鏡岩」(瀬戸越町)を題材にした会話です。



Emily & Nahoko Hello, everyone. (皆さん、こんにちは)

Nahoko I am Nahoko. (なほこです)

Emily I am Emily. Nice to meet you. (私はエミリーです。はじめまして!)

Nahoko Today, we came to ~ (きょう、私たちがやって来たのは~)

Emily Oh! This rock looks like glasses. (わ~! この岩はまるで眼鏡みたいね)

Nahoko Yes. It's called "Megane-iwa". (そう! 「眼鏡岩」というのよ)

広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール
 第1土曜 NBC 9:25~9:30 KTN 11:45~11:50
 第2土曜 NCC 16:25~16:30 第2日曜 NIB 6:30~6:35
 第3土曜 NBC 9:25~9:30 KTN 11:45~11:50
 第4土曜 NCC 16:25~16:30 第4日曜 NIB 6:30~6:35
 ※上記内容を1カ月前先行して放送しています。
 ※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。
 ※YouTube版はこちらからどうぞ。



九十九島とらふぐ



「とらふぐ」はフグの中では最高級とされており、「冬の味覚の王者」として特に首都圏や関西方面で重宝されています。長崎県は「とらふぐ」の養殖業が非常に盛んで、全国生産量の半分近くを占めており、中でも本市は、統計のある平成28年に市町村別生産量で全国2位になるなど、全国でも有数の養殖とらふぐ生産地です。その生産海域である「九十九島」は、208の島々に囲まれ、複雑な地形が生み出した潮の流れと島々からの滋養成分が豊富で、おいしい「とらふぐ」を育てるには好条件がそろっています。

さらにその品質を向上させるため、養殖の餌に「早摘みミカン」を混ぜたものを与えたとらふぐは、「九十九島とらふぐ」と命名・ブランド化されています。早摘みミカンに豊富に含まれるビタミン群などの効果で、フグの血流が良くなり、身がぎゅっと締まり、風味も豊かになり、とらふぐ本来のうま味がより一層際立ちます。

「九十九島とらふぐ」は11月から順次出荷が始まり、12月になると本格的なシーズンに入ります(一部加工品は10月から販売予定)。全国有数のとらふぐ生産地・佐世保の「九十九島とらふぐ」を、皆さんの家庭でもどうぞお召し上がりください。

主な販売場所 九十九島漁業協同組合 (☎69-3161)
 ☎水産課 ☎24-1111

人の動き(9月1日現在)

- 総人口 243,947人(前月比-257人)
 男性 115,666人(-144人)、女性 128,281人(-113人)
- 世帯数 105,075世帯(前月比 -12世帯)
- 8月中の動き
 転入 581人、転出 733人、出生 156人、死亡 261人



9月21日(月・祝)は「敬老の日」でした。昭和38年に制定された老人福祉法によって9月15日が「老人の日」に定められ、その後、多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し長寿を祝するため、昭和41年に「敬老の日」が国民の祝日に定められました。

例年であれば、この日を中心に市内の高齢者施設や町内会の公民館、地区自治協議会などで「敬老祝賀会」が開催されていましたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ことしはほとんどの施設や団体で開催が見送られることとなりました。

私は毎年、市内の最高齢の方を訪問したり、高齢者施設や公民館などでの敬老会に参加したりして、お祝いを申し上げてきましたが、ことしは先の理由で残念ながら叶いませんでした。そのため、ことしはこの紙面を活用し、長寿を迎えられた皆さまに感謝の意を表したいと思います。これまでの社会に対するご貢献に心からお礼を申し上げます。どうか今後ともお元気で、地域や市政の発展にご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ところで、ことし9月1日現在での本市における100歳以上の方は206人(前年同月比+14人)、さらに今年度中に100歳を迎えられる方が84人(+6人)で、合わせると290人(+20人)の方がいらっしゃるそうです。



養護老人ホームを訪れ、100歳を迎えられた方に記念品を贈る市長(令和元年9月16日撮影)

老人福祉法が制定された昭和38年には、日本全国で100歳以上の方は153人と記録されており、このことから100歳の長寿は今や誰もが目指せる時代になったと思います。願わくば私も健康を維持し、100歳を迎えたいと思っています。

そのためには、日頃から健康寿命を延ばすことを心掛けていくことが重要だと思います。適度な運動や食事習慣、趣味、社会活動などに、「継続することが力」という思いで、ご高齢の方も若い方もチャレンジし続けようではありませんか!

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 103 聞いて「徳」する話 64 「一隅を照らす」当たり前

私の家にはいろんな人が荷物を届けてくれますが、配達のために郵便配達員のKさんを思い出します。ある雨の日のこと、配達に来たKさんはバイクから降りると、ぬれないように郵便物を抱え、ぬれた郵便受けをそっと拭い、丁寧に郵便物を入れて行きました。この時、Kさんは私が見ていることを知りません。

また、別の日には、郵便物を手渡す際に腰を折り、笑顔であいさつしながら両手で差し出してくれました。Kさんは住民からの声掛けにも即座に応えてくれます。誤配や遅配が許されない郵便配達ですが、郵便受けの中を見れば、配達した人がどんな入れ方をしたかが分かります。

Kさんにとって配達のプロセスが大事であり、いつでも変わらずそうしてきたことが、当たり前で大切なことなのでしょう。自分のいる場所(いちごう)や仕事にかかわらず、誇りに思っ^{ためお}て真心を尽くす、まさに「一隅を照らす」当たり前があると感じました。

(出口 爲男さん)



「聞いて徳する話」募集中
 身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。
 ☎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856